

平成30年度第3回生駒市介護保険運営協議会会議録

1 日 時 平成31年2月20日(水) 14:00～15:30

2 場 所 生駒市役所4階 大会議室

3 出席者

委員 澤井 勝 高取 克彦 萩原 洋司 辻村 泰範 林 昌弘 井上 太 藤田 照子
藤尾 庸子 日野 紀代子 小川 千恵里 平本 良平 嶋司 和子

事務局 影林福祉健康部長 田中福祉健康部次長

地域包括ケア推進課：後藤 治彦 澤辺 誠 中村 顕子 西口 薫

介護保険課：近藤 桂子 角井 智穂 福山 清美 殿水 成樹 西川 洸

1 開会

会議成立の報告(委員13名中12名出席)

2 案件(1)～(5)

資料1～8より説明

案件1 会議の公開・非公開について

異議なしで公開することに決定。

案件2 第7期介護保険事業計画の進捗状況について

資料1・2により説明

◎質問・意見なし

案件3 地域密着型サービス事業所の指定更新について

資料3・4により説明

◎事前に行った現地確認に出席した委員からの意見

委員：サンミットについては、リハビリ設備が充実していた。萩の台ちどりは全ての面で整理されているといったイメージで、ここならお世話になりたいと思った。一方で整理されすぎていて、ずっといると窮屈かなとも感じた。スマイルケアに関しては、設備等に対してこだわりが強いため、従業員の負担が大きく長続きしづらいのではと思う。2階でサービスを提供しているので、有事の際の避難経路が気になった。1人の利用者に対して複数のスタッフが付いているので、サポートのしすぎではと感じた。

委員：利用者の目線に立った施設であることが重要だと思った。

委員：3施設見学し、第一に組織力の違いを感じた。サンミットは組織も大きく内容も充実しているが、介護施設としては少し無機質かなと思う。萩の台ちどりについて、外国人の従業員が多いと聞いていて、コミュニケーションの面で心配であったが、お話を聞いて安心できた。スマイルケアに関しては、オーナーの思いが強く自身でも介護を経験されていたこともあり、

利用者としてはありがたい反面、従業員の負担が大きく長続きするかどうかという面で心配である。また、防災面において避難が難しいように思う。非常にいい介護をしているので、もっと広報をしていくべきである。

委員：人員や内容は基準に沿っていればいいと思うが、施設の安心・安全が一番重要であると考えている。「想定外」ということのないように気を配ってもらいたい。

委員長：スマイルケアについて、従業者がほとんどパートであることや、宿泊サービスをやめていることもあり、利用者が少ないことを踏まえると経営面が心配。サービスの内容については非常に熱心に考えているが、経営改善を図る努力が必要である。

◎質問・意見

委員：組織力の違いが顕著に出ている。小さい組織の事業所も事業を継続できるように、市からも助言等を行っていく必要がある。

事務局：スマイルケアの避難経路については、エレベーターの他に階段もあり、そこを避難経路として考えていることは事業所に確認済みである。市としても、施設の安全面については注視していく考えである。

案件3については、3事業所ともに指定更新の基準を満たしているが、一部条件付きで承認することとする。

案件4 地域包括支援センター関係について

①介護保険運営協議会への諮問②介護予防支援及び第一号介護予防支援事業の再委託事業所について

資料5・6により説明

◎質問・意見なし

案件4①・②については承認することとする。

③地域包括支援センターの平成30年度運営状況について

資料7・8により説明

◎質問・意見なし

案件4③については報告として受けることとする。

案件5 その他

以下の4点を報告

- ・地域密着型サービスの公募について
- ・高山ちどり別館の開設について
- ・保険者機能強化推進交付金について
- ・地域包括支援センターの機能強化について

委員より意見

- ・地域福祉計画について

閉会